

“次世代科学を支援する超精密加工と形状計測に関する公開シンポジウム”

開催日 平成29年3月14日(火)

主催：公益社団法人精密工学会

企画：中部大学生産技術開発センター（センター長：中部大学 教授 鈴木 浩文）

趣旨：科学は新しい知の創造を目的とし、それを実現するため技術が進歩して来たという側面があり、両者が車の両輪となり、科学技術が発展しています。現在の日本には「ものづくり」の先導者としての立場を失い、社会全体に閉塞感が漂っています。しかし、科学の分野では新しい発想の技術が生まれており、これを学ぶことは新しい「ものづくり」に貢献すると確信します。例えば、X線天文学では高性能なX線望遠鏡を必要とします。この高性能を実現するには反射鏡の高精度加工が必須となりますが、同時に宇宙での観測のためには軽量化を要求されています。また、科学であっても経費削減が求められ、反射鏡製作の低価格化が必要です。反射鏡の高精度化・軽量化・低価格化は互いに矛盾する要素を含んでいます。これを解決するために、従来と異なる発想の反射鏡の製作法が生まれています。今回のシンポジウムでは、最新の科学を支えている超精密加工・形状計測技術を学び、学界ならびに産業界に新しい発想の設計・加工・計測技術が生まれることを期待して企画しました。公開シンポジウムとして無料での開催としましたので、関係各位の積極的なご参加を期待しています。

開催日時：平成29年3月14日(火)午前9時より

会場：慶應義塾大学理工学部 矢上キャンパス 14棟創想館 地下2階 マルチメディアルーム
(神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1、東急東横線日吉駅より徒歩15分)

使用言語：日本語と英語(海外からの講師の場合)

参加費：無料

※ 聴講ご希望の方は、開催当日、直接会場へお越しください。

なお資料集は有料です。(大会シンポジウムと合冊で大会総受付にて販売いたします)

プログラム：

<司会> 東京電機大学 森田 晋也 氏

1. 9:00~9:05 “はじめに”

中部大学 鈴木 浩文 氏

2. 9:05~9:55 “精密非球面X線望遠鏡の製造法”

NASA/GSFC William W. Zhang 氏

3. 9:55~10:35 “超大型望遠鏡TMTの主鏡製作と形状計測”

キヤノン 松田 融 氏

(10:35~10:50 休憩)

4. 10:50~11:30 “高出力レーザー用光学ガラスの収束研磨”

LLNL Tayyab I. Suratwala 氏

5. 11:30~12:10 “X線ナノ集光のための精密ミラーの作製”

大阪大学 山内 和人 氏

(12:10~13:10 昼食)

<司会> 中部大学 鈴木 浩文 氏

6. 13:10~13:50 “中性子集光ミラーの超精密加工”

理化学研究所 山形 豊 氏

7. 13:50~14:30 “イオンビーム形状修正法の新展開”

NTG Neue Technologien GmbH Matthias Marschall 氏

8. 14:30~14:35 “おわりに”

中部大学 難波 義治 氏

9. 14:35~15:30 技術交流会（講師との自由な歓談を予定しています）